

## 鳴子ダム管理所 渇水対策支部の設置について

鳴子ダム流域では、7月から8月にかけての降水量が平年（過去10ヶ年平均）の約7割と小雨状態が続いたことから、貯水率が、13%（9月6日9時現在）と、過去10ヶ年の平均貯水率の約4割程度となっております。

このため、鳴子ダム管理所では、今後もまとまった降雨が予想されず、早期の回復が見込まれないため、東北地方整備局渇水対策細則に基づき、9月6日に渇水対策支部（注意体制）を設置しました。

今後は、下流河川の状況等について、より詳細な情報収集を行うとともに、関係機関との調整を密にし、適切なダム管理に努めます。

### 1. 貯水状況について（9月6日9時現在）

	貯水位 (m)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )	貯水率 (%)
平成22年9月6日	EL233.32	2,010	13%
過去10年間平均	EL236.27	5,075	32%

（参考資料①：グラフ1－鳴子ダム年間貯水位曲線）

### 2. 降水状況について（流域平均日雨量）

7月から8月にかけての鳴子ダム流域における降水状況は、過去10ヶ年の流域平均降水量と比較し、約7割程度と小雨状態が続いております。

また、仙台管区気象台の発表によると、仙台（仙台市宮城野区五輪）における降水量は7月が平年の約8割程度、8月が約2割程度となっており、平年よりも少ない状況となっており、気温も高い状態が続きました。また、平年よりもかなり気温の高い状態は今月半ばまで続く見込みとされていることから、今後も小雨状態が続く見込みです。

	7月1日－31日	8月1日－31日	合計
平成22年	254mm	138mm	392mm
過去10ヶ年平均	313mm	233mm	546mm

### 3. 鳴子ダム放流について

鳴子ダムでは、江合川において必要な流量を補給するため、これまで利水者と調整しながら、運用を行ってきました。

また、9月6日からは、江合川末沢地点で5m<sup>3</sup>/sの流量を確保することとしております。

今後もまとまった降雨がなく、ダムに入ってくる水の量が少ない場合は、継続してダムからの補給を行います。

(参考資料②：鳴子ダムと末沢基準地点の位置関係)

発表記者會 古川記者クラブ

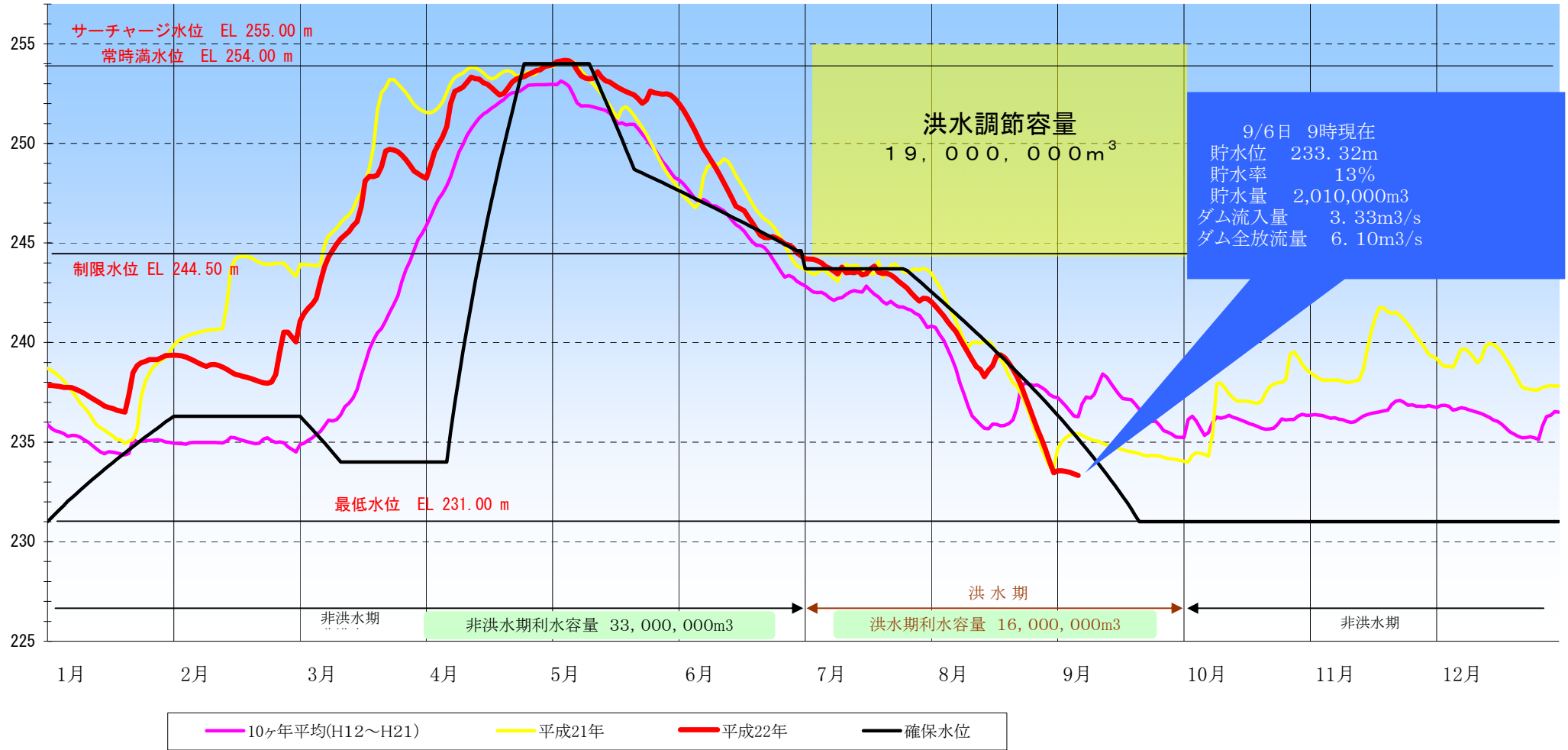
問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所 大崎市鳴子温泉字岩淵2-8 (TEL 0229-82-2341 代表) 管理所長 柏谷 稔 (内線 201) 管理係長 木村 康文 (内線 332)
---

# 鳴子ダム年間貯水位曲線

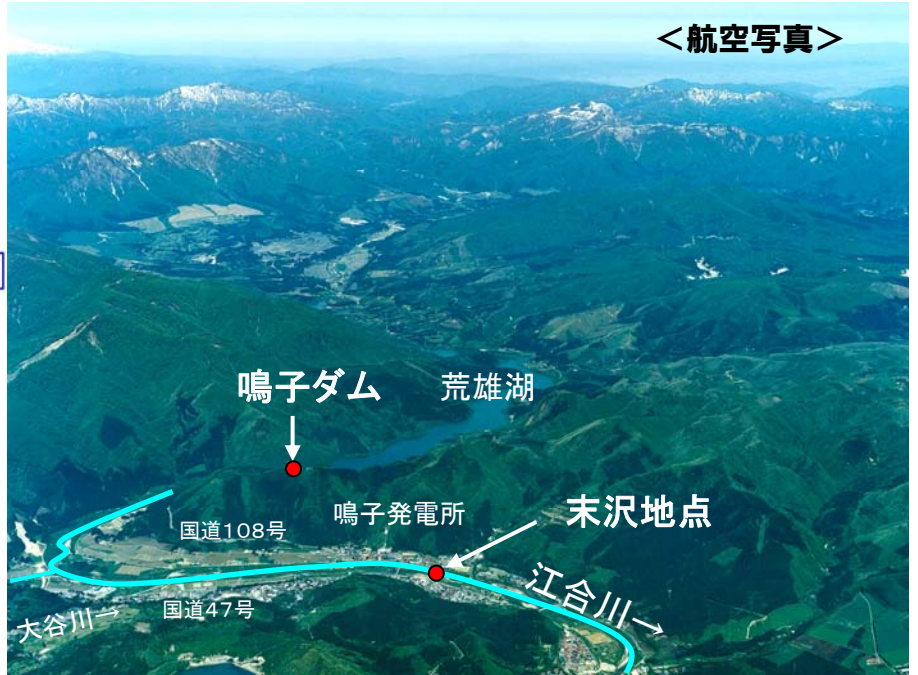
参考資料① グラフ1

有効貯水容量 35,000,000m<sup>3</sup>



# 鳴子ダムと末沢基準地点の位置関係

参考資料②



## 末沢地点において必要な期別流量

地点名	5月/1日～5月/31日	6月1日～9月5日	9月6日～4月30日
末沢地点	17.5 m <sup>3</sup> /s	11 m <sup>3</sup> /s	5 m <sup>3</sup> /s

